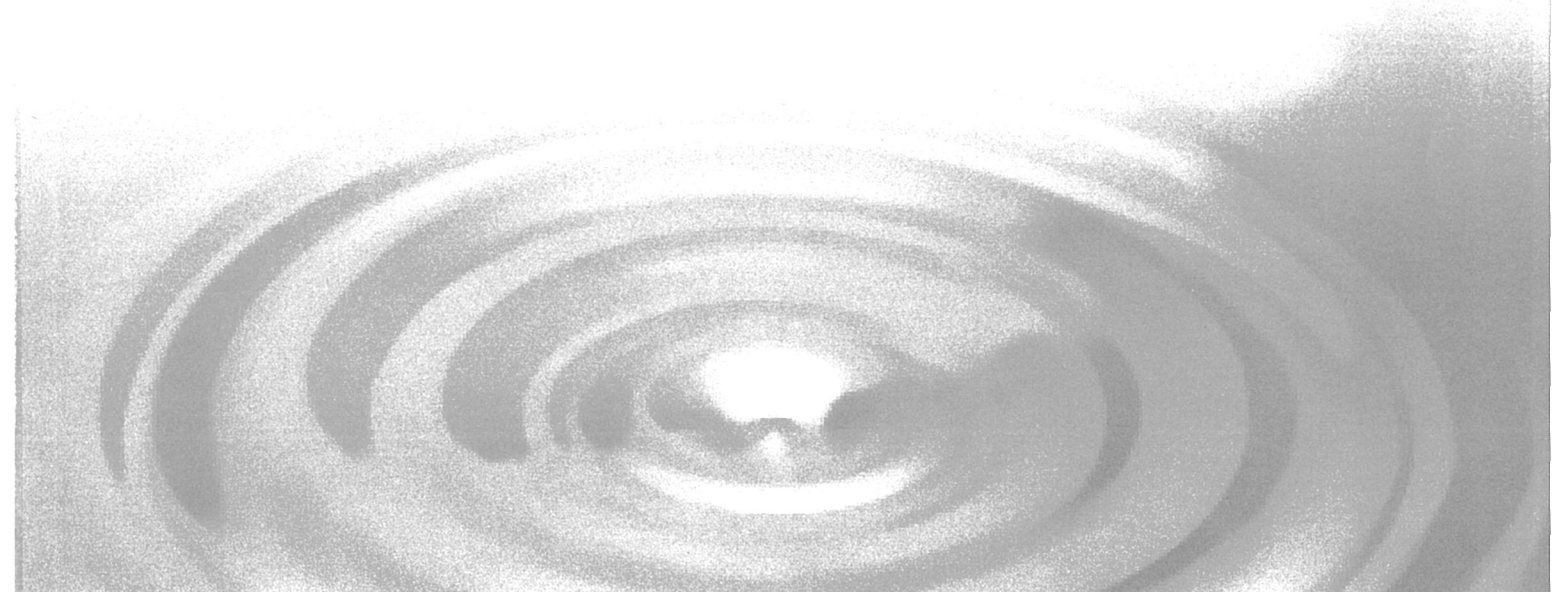


I 事業報告



1 平成26年度 生涯教育推進センター事業報告

生涯教育推進センター事業報告

平成26年度 生涯教育推進センター運営方針

(1) 大学開放の推進とセンターの機能を充実

高等教育機関としての大学開放の在り方について調査研究を進め、センターの機能の充実を図る。また、大学と地域との在り方について、学内外の関係者から意見や希望を聴取し、生涯学習の専門機関としてのセンター運営を展開する。

(2) 地域社会への学習機会提供

地域生涯学習の推進に係わる関係機関との連携を強め、大学の教育機能を十分に生かした事業を提供し、地域全体の学習機会の充実に貢献する。

(3) 地域の教育行政への支援

県・市町村と連携し、社会教育・生涯学習指導者の養成と研修を行うとともに、その方法、内容などについて研究・協議を重ね、研修の体系化を図る。

(4) 生涯学習に関わる基礎研究

県・市町村と協議しながら、生涯学習の推進のための学習環境整備に係わる基礎的調査研究を継続的に実施する。

(5) 生涯学習情報の提供

生涯学習に関わる情報や資料を整理し、学習活動や調査研究に役立つよう情報提供を行う。

生涯教育推進センター事業概要

本センターの運営方針に基づき、次のような事業を行う。

- (1) 全学的な協力体制のもとに大学公開講座を運営するとともに、本センターは全学・学部横断的な公開講座の提供、調査研究対象となる講座、新規開発的な講座、試行的な講座、県・市町村などの関係機関との連携講座、大学間連携講座、社会教育指導者養成講座、委託事業などを実施する。
- (2) 県・市町村、及び関係機関等の社会教育関係職員の研修を支援する。
※県、市町村と協議を進め、研修成果の評価を含め、研修の体系化を図る。
- (3) 県・市町村、及び関係機関等と連携し、地域の生涯学習を総合的に推進するため、地域生涯学習システムの研究、及び生涯学習推進の基礎的資料となる地域の実態調査や住民の学習意識に関する調査研究などを積極的に行う。
※行政機関が実施する調査等に協力するとともに、独自の調査も検討する。
- (4) 生涯学習、大学開放等に関する国内外の資料、情報を収集し、提供する。
- (5) 生涯学習支援活動データベースの充実を図るため、教員の登録を推進する。
- (6) 大学公開講座の開設において、全学的な調整機能をセンターが果たすとともに、センターの機能を生かして公開講座の企画・運営などのノウハウを学内へ情報提供を行い、大学公開講座の内容の充実および質的な向上を図る。また、公開講座・公開授業の拡大を通して、地域社会への教育サービスの充実を図る。
- (7) その他、年間を通して、特に緊急を有する事柄で、センター長が認めたもの。

事業の運営細目

- (1) 本センター講座の開設は、原則4月から2月までの期間に実施するようにする。
講座は、原則として1講座、複数回以上開講し、1回1～3時間とする。
- (2) 講座の内容は、現代的課題や地域課題、社会のニーズ、及び大学としての役割も考慮しながら本センターで検討する。
- (3) 連携事業及び調査研究事業などは、関係機関との協議を通して内容の充実を図る。
- (4) 県・市町村、関係機関等からの生涯学習の推進に関する相談・協力依頼等については、年間を通じて可能な限り、積極的に受け入れるものとする
- (5) 学内外の関係者を交えた意見交換の場を設置し、大学の生涯学習教育研究センターとしての在り方について意見を聴取し、センターの事業に反映する。

(一) 生涯学習実践推進センター(生涯学習推進センター) 実績表(表)

年度	生涯学習実践推進センター		生涯学習実践推進センター		生涯学習実践推進センター		生涯学習実践推進センター		合計
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	
2010	17	506	17	506	17	506	17	506	116
2011	18	702	15	467	18	558	18	558	174
2012	21	797	20	691	21	797	21	797	218
2013	20	730	21	730	18	594	18	594	218
2014	18	616	22	757	14	410	18	594	218
2015	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2016	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2017	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2018	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2019	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2020	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2021	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2022	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2023	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2024	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2025	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2026	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2027	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2028	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2029	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2030	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2031	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2032	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2033	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2034	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2035	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2036	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2037	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2038	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2039	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2040	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2041	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2042	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2043	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2044	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2045	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2046	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2047	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2048	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2049	18	616	18	594	18	594	18	594	218
2050	18	616	18	594	18	594	18	594	218

平成26年度 生涯教育推進センターの事業運営

1. 平成26年度 島根大学公開講座（公開講座・公開授業）の運営

(1) 公開講座の実施結果

島根大学では、平成16年度の法人化後、平成25年度までの10年間で、公開講座 347講座が開講され 8,373人が受講し、公開授業 818科目が開講され 1,966人が受講する等、これまで地域住民10,399人が市民受講者として登録しており、各講座や授業の開講数を積算するとこの10年間に延べ7万人以上の市民が島根大学で学習活動を展開しており、重要な社会貢献活動となっている。

平成26年4月からは、市民を対象とした「市民パスポート会員」制度が本学に導入され、その会員の特典として、公開授業のすべて科目、及び公開講座の知識習得系講座は無料で受講できるようになった（公開授業1科目7000円、公開講座は講座別講習料が無料）。本センターでは、会員制度が導入されたことを踏まえ、来校する多くの市民の学習活動を支援することと公開講座等の学習機会の拡充に努めた。

1) 平成26年度「市民パスポート会員制度」導入による講座数・受講者数等の変化

平成26年1月、6月に全学の教職員を対象に公開講座・公開授業開講の募集を行い、申請された公開講座31講座、公開授業99講座について、センター運営会議の専門委員会の審査後、センターで開講する講座を取りまとめて公開した。

平成26年度公開講座・公開授業の市民受講者は423人（実人数）で、その内訳は市民パスポート会員215人、一般市民112人、子ども92人となっている。これら419人の市民受講者の受講状況は下記の表1の通りで、全体として、130講座に延べ946人の市民が大学にて学習活動を行っている。（表1参照）

また、広報は、ポスター・案内小冊子・募集チラシを県内各市町村教委、教育機関・施設等に送付し、前年度受講者には案内小冊子をDMで個人配布している。さらに、一般市民を対象に募集チラシ（前期：8.1万部、後期：4.8万部）を本県東部、鳥取県西部（米子市・境港市中心）に新聞折り込みを行っている。

表1 島根大学公開講座実施結果（大学法人化平成16年度以降～）

年度	公開授業		公開講座						大学公開講座全体	
	年間合計		有料講座		無料講座		合計		総合計	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	総受講者数
16	23	71	12	231	12	565	24	796	47	867
17	24	86	18	355	6	50	24	405	48	491
18	83	208	21	366	11	91	32	457	115	665
19	99	213	16	234	15	261	31	495	130	708
20	103	197	17	319	11	297	28	616	131	813
21	95	209	19	348	18	526	37	874	132	1,083
22	102	261	19	422	23	1,048	42	1,470	144	1,731
23	100	239	24	423	19	599	43	1,022	143	1,261
24	91	241	21	355	19	816	40	1,171	131	1,412
25	98	241	21	336	25	731	46	1,067	144	1,308
26	99	476	31	470	0	0	31	470	130	946
累計	917	2,442	219	3,859	159	4,984	378	8,843	1,295	11,285

(2) 自治体や教育機関・組織との連携

平成25年度までは、本学公開講座の一部を「まつえ市民大学」「出雲市生涯学習講座」に連携講座として提供し、双方で市民の学習ニーズに応えるよう学習機会の拡充に努めてきたが、26年度に創設された「市民パスポート会員」制度の下では、本学の公開講座は全て有料であり、「出雲市生涯学習講座」は原則、受講料無料であることから、本学の公開講座を連携講座として提供できなくなっている。従って、平成26年度は、松江市、出雲市との間では、連携講座は実施できていない。

ちなみに25年度は、有料・無料の46の公開講座の内、「まつえ市民大学」に13講座「出雲市生涯学習講座」に3講座の計16講座を連携講座として提供している。

なお、本学講座の広報に関しては、従来通り、松江市、出雲市とも協力的であり、前期、後期の受講者募集に際しては、各市の市報に募集記事を掲載していただいたり、関係する公共施設、公民館、コミセン等にセンター作成の講座案内チラシ等を配置していただいている。

また、大学開放事業についても、各講座ごとに、松江市、出雲市、その他関係組織・機関と連携協力している。

2. センターが提供する学習講座の実施状況と結果

(1) 学習機会提供事業（※センターの地域貢献、生涯学習事業として位置づけ）

1) 学習講座

① 「上方の伝統芸能～文楽の世界」～松江ゆかりの人形浄瑠璃を楽しむ～

講義とフィールドワークを組合せた学習講座（生涯学習ツアー）。講座は、「世界無形遺産」に登録された「文楽」（人形浄瑠璃）を学習主題に、島大での講義と文楽発祥の地・大阪での舞台鑑賞を行った。

② 「家族の記録」デジタルアーカイブづくり（公開講座）

～ビデオカメラ撮影・編集技術のステップアップ～

家族や地域の様々なシーンをビデオ・カメラで撮影し、その映像を「家族の記録」としてデジタルアーカイブをつくる知識と技術を学ぶ講座。

2) 自然体験講座

① 「海の自然体験講座」（※親子を対象にした海の自然体験活動）

スキューバダイビングに必要な知識と技術の向上を図り、島根半島でスキューバダイビングを体験したり、磯の動植物の生態の観察を通して、海の自然に親しむ。

平成26年度は、11組家族を含め26名の参加があった。

3) 資格取得支援講座

CS技能評価試験、及びデジタルアーカイブ・クリエイタ資格に関する資格取得支援講座等を3講座開催した。なお、資格取得支援講座では3講座あわせて、40名が資格認定試験を受け、35名（87.5%）が合格し、それぞれの資格を取得した。

① 「仕事で使える『ワード』基本スキルをマスター」（公開講座）

・コンピュータサービス技能評価試験3級（ワード）資格取得支援の講座

② 「仕事で使える『エクセル』基本スキルをマスター」（公開講座）

・コンピュータサービス技能評価試験3級（エクセル）資格取得支援の講座

③ 「デジタルアーカイブ・クリエイタ資格習得講習会」

- ・デジタル・コンテンツを取り扱うために必要な能力を認定する資格講習会
- ※岐阜女子大学、常磐大学と島根大学の共同開催

(2) 社会教育指導者養成事業（教育行政関係者、公民館・図書館等職員を対象）

1) 社会教育基礎講座 I（概論・各論）（3.0h×5回）

生涯学習・社会教育の理念や基本的知識、教育行政の課題、社会教育施設や職員の役割について学ぶ。

（特別講義）社会教育に係わる著作権とその問題点の理解

2) 社会教育基礎講座（著作権）（2.0h×2回）

社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応について学ぶ

※松江市公民館館長・職員研修と共同開催

3) 社会教育基礎講座（特講）（1.5h×11回）

「地域づくり」に関する特別講座、地域の実践者による講義と事例発表を聴講し「地域のづくり」実践事例を学ぶ。

※本センターからの総合科目「地域づくり～地域教育力の再生～」の一部を選択聴講し、地域教育力に関する基本的知識と実践を学ぶ。

3. 生涯学習活動を支援する情報提供

(1) 本学「公開講座」等の情報提供は、ポスター、講座案内冊子、広報チラシ等の紙媒体と、本センターHPで学習講座の最新情報及び受講手続きに関する情報等も提供。

(2) 「島根大学教員の生涯学習支援活動のデータベース」は、大学HPの島根大学教員情報検索システムと連結しており、学外からの講師の検索に利用されている。

4. 地方教育行政等への人的支援、及び教育コンサルティング事業（センター教員1名分）

(1) 教育行政等に係わる委員会委員としての活動

・県・市町村の4つの委員会にて、委員としての活動 合計 8回

(2) 学会・公的団体・民間教育関係団体等の委員会委員としての活動

・6つの委員会・協議会に所属、合計 35回活動

(3) 生涯学習の推進等に係る相談（※本センターに来訪、電話相談など）

・生涯学習推進に関して	24回	
・指導者養成研修に関して	11回	
・生涯学習講座に関して	14回	
・本学教員の講師紹介に関して	2回	合計 51回

(4) 学外における指導者養成講座の指導

・県、市町村、社会教育団体主催の講座指導 9件 合計 9件

[指導内容]

- ①島根県キャンプ協会指導者養成講習会
「キャンプインストラクター養成講習会」(6月)
- ②松江市公民館館長・職員研修会
「社会教育活動に係る著作権講習会」(7月:松江市公民館運営協議会)
- ③大田市公民館協議会職員研修会
第1回「ふるさと教育基礎講座」(9月:大田市公民館協議会)
- ④大田市公民館協議会職員研修会
第2回「ふるさと教育基礎講座」(11月:大田市公民館協議会)
- ⑤松江市公民館職員研修会
「事業の企画力を高める」(12月:松江市公民館運営協議会)
- ⑥松江市公民館館長研修会
「公民館の役割と機能」(12月:松江市公民館運営協議会)
- ⑦大田市公民館協議会職員研修会
第3回「公民館の役割の目指す方向性」(11月:大田市公民館協議会)
- ⑧松江市公民館館長・運営協議会会長合同研修会
「地域の根差した公民館の役割」(2月:松江市公民館運営協議会)
- ⑨益田市教育委員会(社会教育課)
「教育文化デジタルアーカイブ構築」(2月:益田市教育委員会)

5. 調査研究

- (1) 「公開講座と市民パスポート会員制度に関する学習行動・学習意識調査」
平成26年度 公開講座を受講している市民パスポート会員 225人を対象に、その学習行動・意識、及び公開講座への期待・希望等の学習ニーズについてアンケート調査を実施した。(調査結果は年報3号に掲載予定)

6. その他

(1) 広報活動

- 1) 公開講座はもとより、大学全体、各学部、各センター等で実施される講演会や各種事業など、本センターに開催の情報が集約されたものについては、大型ポスター、冊子、チラシ等に掲載し、社会教育施設、学校、受講者OBなどに配布するとともに、広報チラシの新聞折込を通して広く県民に周知している。

具体的には、平成26年3月と9月に、26年度公開講座の募集チラシを作成し、県東部地域に前期8.1万部、後期4.8万部新聞折り込みを実施した。同時に講座案内冊子、ポスターも作成し関係機関等に配布している。

- 2) 年2回(3月と9月)の講座広報とは別途、講座ごとに、学校、公民館等に広報チラシを配布するとともに、松江市の市報、公民館報に掲載を依頼し幅広い広報活動を展開した。

(2) センターICT演習室の管理・運営

平成20年度に従来のマルチメディア演習室をICT学習用に改修し、21年度より学生の情報教育、公開講座、指導者養成講座等学内外のIT教育事業の利用に供している。26年度の利用状況は、一般、学生合わせて、63回、1,259名の利用があった。

2 平成26年度 生涯教育推進センター事業 実施内容結果

(1) 公開講座・公開授業実施結果

東洋大学短期大学部 財務部 平成26年度

平成26年度（前期） 島根大学公開講座実施結果

区分	No.	学部・センター	講座責任者	講座名	講習料	対象者	募集 人数	申込 人数	一般 受講 者	P 会員	受講 者数	時期	回数	総 時間	
知識習得系	パスポート 会員無料	1	医学部	仁科雅良	救急医療と社会	1,500	市民一般	30	10	2	6	8	4月20日(日)、5月25日(日)、6月22日(日) 13:00~15:00	3	6
		2	農林水産業の第六次産業 化プロジェクトセンター	板村裕之	六次産業化産品の販売戦略としての SWOT分析	500	市民一般	20	6	0	3	3	4月26日(土) 10:15~11:45	1	1.5
		3	外国語教育センター	西脇 宏	金曜日のドイツ語	4,000	市民一般	20	21	3	17	20	5月9(金)~6月27日(金) 18:00~19:00	8	8
		4	医学部	廣瀬昌博	日本の医療は安全か?	1,500	市民一般	20	12	2	10	12	5月12日(月)、6月23日(月)、7月14日(月) 10:30~12:00	3	4.5
		5	生涯教育推進センター	仲野 寛	「家族の記録」デジタルアーカイブづく り	2,500	市民一般	15	11	7	3	10	5月16日(金)~6月13日(金) 19:00~21:00	5	10
		6	生物資源科学部	石橋美保子	旬の果実でジャムづくり	1,500	市民一般	10	75	7	3	10	5月23日(金)、9月5日(金)、11月7日(金) 9:30~12:00	3	7.5
		7	ミュージアム	會下和宏	第10回島根まるごとミュージアム体験ツ アー	500	市民一般・小・中学生・ 高校生	40	55	18	22	40	5月24日(土) 9:00~15:00	1	6
		8	生物資源科学部	土本浩之 門脇正行	やさしいサツマイモ栽培	3,000	市民一般・小・中学生・ 高校生	10	13	7	5	12	6月14日(土)~11月29日(土) 9:30~11:00	6	9
		9	ナノテクプロジェクトセ ンター	藤田恭久	身近な材料でできるナノテクノロジー	500	市民一般・小・中学生・ 高校生・民間技術者	30	11	2	8	10	7月12日(土) 13:00~15:00	1	2
		10	医・生物ラマンプロジェ クトセンター	山本達之	新しい医療診断技術「ラマン分光法」と は何か?	500	市民一般・高校生・民 間技術者	30	9	2	7	9	7月19日(土) 13:00~15:00	1	2
		11	生物資源科学部	喜多威知郎	使ってみよう!ワープロソフト・ワード	2,000	市民一般	25	24	5	15	20	9月2日(火)~9月5日(金) 13:30~15:30	4	8
		12	生物資源科学部	喜多威知郎	上級者へステップアップ!ワープロソフ ト・ワード	2,000	市民一般	25	24	5	18	23	9月9日(火)~9月12日(金) 13:30~15:30	4	8
子ども 向け講座	13	総合科学研究支援センター	松本健一	理科実験講座1 自然の中の放射線	500	小・中学生・高校生	20	12	11		11	7月23日(水) 14:00~16:30	1	2.5	
	14	総合科学研究支援センター	松本健一	理科実験講座2 台所は実験室	500	小・中学生・高校生	20	13	10		10	7月24日(木) 14:00~16:30	1	2.5	
	15	医学部	関根浄治	お口の探検ツアー	500	小・中学生	8	6	4		4	8月6日(水) 13:00~16:00	1	4	
実用知識・ 技術習得系講座	16	教育学部	西村 覚	硬式テニス教室	7,000	市民一般、(テニス実技 初・中・上級者)	40	45	44		44	5月7日(水)~7月30日(水) 19:00~21:00	10	20	
	17	生涯教育推進センター	仲野 寛	仕事で使える「ワード」基本スキルをマ スター	7,000	市民一般・学生	20	5	5		5	5月8日(木)~7月10日(木) 19:00~21:00	10	20	
	18	教育学部	西村 覚	こどもテニス教室1A	3,200	小学校低学年、初めて、 初心、初級	30	11	11		11	5月10日(土)~6月28日(土) 9:15~10:15	8	8	
	19	教育学部	西村 覚	こどもテニス教室1B	4,600	小学校高学年、初めて、 初心、初級	30	12	12		12	5月10日(土)~6月28日(土) 10:30~12:00	8	12	
	20	教育学部	境 英俊	泳げない子の水泳教室	5,500	小学3~6年生	20	12	10		10	7月22日(火)~26日(土) 9:00~12:00	5	15	
	21	教育学部	境 英俊	少しだけ泳げる子の水泳教室	5,500	小学3~6年生	20	30	28		28	7月22日(火)~26日(土) 9:00~12:00	5	15	
				合計			483	417	195	117	312		89	171.5	

平成26年度（後期） 島根大学公開講座実施結果

区分	No.	学部・センター	講座責任者	講座名	講習料	対象者	募集 人数	申込 人数	一般 受講 者	P 会員	受講 者数	時期	回数	総 時間
知識習得系	1	教育学部	福田景道	「国語」の世界を訪ねる —国語科の「今」—	3,000	市民一般	30	20	1	18	19	10月17日(金)～11月28日(金) 18:00～19:30	6	9
	2	外国語教育センター	西脇 宏	金曜日のドイツ語	4,000	市民一般	20	19	0	19	19	10月31日(金)～12月19日(金) 18:00～19:00	8	8
	3	生物資源科学部	喜多威知郎	始めてみよう！表計算ソフト・エクセル	1,000	市民一般	25	24	5	12	17	平成27年2月26日(木)～2月27日(金) 13:30～15:30	2	4
	4	地域課題学習支援センター	高須佳奈	キッズサイエンス スクール(午前コース)	1,500	小学生2～4年生 (保護者同伴)	10	6	6		6	10月2日(土)、11月15日(土)、12月20日(土) 10:00～12:00	3	6
	5	地域課題学習支援センター	高須佳奈	キッズサイエンス スクール(午後コース)	1,500	小学生2～4年生 (保護者同伴)	10	5	5		5	10月2日(土)、11月15日(土)、12月20日(土) 14:00～16:00	3	6
実用知識・技術習得系講座	6	教育学部	新井知生	版画講座 —シルクスクリーンでオリジナルプリントを作ろう—	2,400	市民一般	8	13	9		9	10月30日(木)、11月6日(木)、11月13日(木) 10:00～12:00	3	6
	7	教育学部	西村 覚	硬式テニス教室	7,000	市民一般	40	59	45		45	9月24日(水)～11月26日(水) 19:00～21:00	10	20
	8	教育学部	西村 覚	こども硬式テニス教室2A	3,200	小学校低学年	30	14	13		13	10月4日(土)～11月29日(土) 9:15～10:15	8	8
	9	教育学部	西村 覚	こども硬式テニス教室2B	4,600	小学校高学年	30	12	12		12	10月4日(土)～11月29日(土) 10:30～12:00	8	12
	10	生涯教育推進センター	仲野 寛	仕事で使える「エクセル」基本スキルを マスター	7,000	市民一般	20	14	13		13	10月15日(木)～12月17日(木) 19:00～21:00	10	20
					合計			223	186	109	49	158		61

平成26年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

教養教育系科目（全学共通教育科目）

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
1	東アジアのことばと文学	A	月	1・2時限	講義	10	2	1	法文学部	教授	要木純一
2	情報化社会と経済	A	月	1・2時限	講義	5	4	4	法文学部	教授	野田哲夫
3	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	A	火	1・2時限	講義	15	18	14	法文学部	准教授	平郡達哉
4	汽水域の科学	A	火	3・4時限	講義	10	8	6	汽水域研究センター	教授	國井秀伸他
5	細胞学	A	火	3・4時限	講義	5	2	2	生物資源科学部	准教授 助教	児玉有紀 秋廣高志
6	山陰の歴史～古代・中世	A	火	5・6時限	講義	10	19	9	法文学部	教授	大日方克己
7	心の世界	A	火	5・6時限	講義	10	11	7	法文学部	教授	石井 徹
8	フランスの社会と文化	A	火	7・8時限	講義	10	11	8	法文学部	准教授	安齋有紀
9	古代出雲の考古学	A	水	3・4時限	講義	10	14	7	法文学部	准教授	岩本 崇
10	王朝の文学	B	水	3・4時限	講義	5	11	4	法文学部	講師	野本瑠美
11	エレクトロニクスセミナー	B	木	3・4時限	講義・演習	5	2	1	総合理工学研究科	准教授	濱口雅史
12	文化人類学入門	A	木	9・10時限	講義	10	2	2	法文学部	教授 准教授	出口 顕 福井栄二郎
13	環境の化学	A	金	1・2時限	講義	10	1	1	総合理工学研究科	教授	清家 泰
14	基礎社会学Ⅰ	A	金	3・4時限	講義	5	14	13	法文学部	教授	吹野 卓
15	アメリカ短篇小説を読む	A	金	3・4時限	演習	3	5	3	法文学部	教授	渡部知美
16	日本人の宗教と死生観	A	金	5・6時限	講義	10	11	7	法文学部	教授	山崎 亮
17	東アジアの歴史と文化	A	金	5・6時限	講義	10	25	12	法文学部	准教授	佐々木愛
18	山陰地域の自然災害	A	金	5・6時限	講義・巡検	3	6	3	法文学部	教授	田坂郁夫
19	基礎社会学Ⅱ	A	金	7・8時限	講義	3	5	3	法文学部	准教授	片岡佳美
20	出雲文化学	A	金	7・8時限	講義	100	33	33	ミュージアム	准教授	會下和宏他
21	環境問題通論A	A	金	9・10時限	講義・実地見学	10	2	2	生物資源科学部	准教授	山岸主門
22	基礎フィールド演習	その他	集中講義(不定期)		セミナー	3	2	2	生物資源教育研究センター	准教授	山下多聞他
	小計					262	208	144			

平成26年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育系科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
23	歴史学概論	A	月	3・4時限	講義	10	1	1	法文学部	教授	渋谷 聡
24	教育臨床心理学概説	A	月	3・4時限	講義	10	5	4		副学長	肥後 功一
25	東洋史概説A	A	月	3・4時限	講義	10	15	9	法文学部	准教授	丸橋充拓
26	労働法Ⅰ	B	月	3・4時限	講義	10	0	0	法文学部	嘱託講師	遠藤昇三
27	現代フランス語基礎演習Ⅰ	その他	月	5・6時限	演習	5	4	4	法文学部	教授	金山富美
28	考古学概論Ⅰ	A	月	5・6時限	講義	10	3	2	法文学部	教授	大橋泰夫
29	イギリス文学基礎演習Ⅰ	B	月	5・6時限	演習	3	5	3	法文学部	教授	西野義彰
30	芸術学講義Ⅱ	A	月	5・6時限	講義	10	8	7	法文学部	准教授	西田 兼
31	農場基礎実習Ⅰ	A	月	7・8・9時限	実習	5	3	2	生物資源科学部	准教授	松本真悟他6名
32	基礎物理学ⅠB	A	月	9・10時限	講義	3	1	1	総合理工学研究科	教授	水野 薫
33	木によるものづくり実習Ⅲ	C	月	9・10時限	実習	5	5	4	教育学部	特任教授	山下晃功
34	共生社会史	その他	火	1・2時限	講義	5	1	0	教育学部	教授	榎原 茂
35	日本史概説A	A	火	1・2時限	講義	10	4	3	法文学部	教授	大日方克己
36	社会保障法	B	火	3・4時限	講義	10	0	0	法文学部	嘱託講師	遠藤昇三
37	地誌学概説	B	火	3・4時限	講義・実習	10	1	1	教育学部	教授	作野広和
38	木質建築学Ⅰ	B	火	3・4時限	講義	20	1	1	総合理工学研究科	准教授 特任准教授	中井毅尚 黄 箭波
39	共生社会演習（人文地理学）	B	火	5・6時限	演習	10	0	0	教育学部	教授	作野広和
40	財政学Ⅰ	B	火	5・6時限	講義	10	4	3	法文学部	准教授	関 耕平
41	固体物理学Ⅰ	C	火	5・6時限	講義	3	1	0	総合理工学研究科	教授	水野 薫
42	日本語史講義	B	火	7・8時限	講義	10	1	1	法文学部	准教授	浅田健太郎
43	日本文学史AⅡ	高校卒業程度の学力	火	9・10時限	講義	10	2	2	教育学部	教授	福田景道
44	耕地栽培学	B	水	1・2時限	講義	5	1	0	生物資源科学部	准教授 助教	門脇正行 城 惣吉
45	西洋史概説A	B	水	3・4時限	講義	10	4	1	法文学部	教授	渋谷 聡

平成26年度（前期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育系科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
46	植物細胞工学	B	水	5・6時限	講義	5	3	3	総合科学研究支援センター	教授	中川 強
47	自然地理学概論	B	木	1・2時限	講義	5	0	0	法文学部	教授	田坂郁夫
48	農作業学	B	木	3・4時限	講義	5	1	1	生物資源科学部	准教授	山岸主門
49	フランス言語文化入門	A	木	3・4時限	講義・演習	10	9	8	法文学部	教授	金山富美
50	金融論Ⅰ	A	木	7・8時限	講義	5	5	4	法文学部	教授	伊藤光雄
51	農場基礎実習Ⅲ	A	木	7・8・9時限	実習	5	4	3	生物資源科学部	准教授	松本真悟他6名
52	人文地理学概説Ⅱ	B	木	9・10時限	講義・実習	10	0	0	教育学部	教授	作野広和
53	果樹園芸学	A	金	3・4時限	講義	3	6	3	生物資源科学部	教授 准教授	板村裕之 江角智也
54	情報産業論	B	金	3・4時限	講義	5	2	1	法文学部	教授	野田哲夫
55	高分子科学	B	金	3・4時限	講義	5	2	1	総合理工学研究科	教授	上原 徹
56	日本古典文学特殊講義	高校卒業程度 の学力	金	7・8時限	講義	10	2	1	教育学部	教授	福田景道
57	歴史学史料演習G	B	金	7・8時限	演習	3	3	2	法文学部	教授	竹永三男
58	木によるものづくり実習Ⅰ	A	金	9・10時限	実習	5	10	10	教育学部	特任教授	山下晃功
	小計					270	117	86			
	合計					532	325	230			

平成26年度（後期） 島根大学公開授業実施結果

教養教育系科目（全学共通教育科目）

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
1	中国文学における風土と人間	A	月	1・2時限	講義	10	5	2	法文学部	教授	要木純一
2	考古学から見た古代山陰の世界	A	火	1・2時限	講義	10	10	8	法文学部	教授	大橋泰夫
3	遺伝学	A	火	1・2時限	講義	3	2	1	生物資源科学部	准教授 准教授	初見真知子 中務 明
4	遺伝子を考える	B	火	3・4時限	セミナー	5	4	3	生物資源科学部	教授	川向 誠
5	地域づくり～地域教育の再生～	A	火	3・4時限	講義・演習	5	7	2	生涯教育推進センター	教授	仲野寛他
6	ヨーロッパの言語文化II	B	火	5・6時限	講義・演習	10	9	8	法文学部	准教授	安齋有紀
7	汽水域の科学（応用編）	C	火	7・8時限	講義	10	6	3	汽水域研究センター	教授	國井秀伸
8	環境問題通論B	A	火	9・10時限	講義・実習	10	4	4	生物資源科学部	准教授	山岸主門
9	光環境と生物	A	水	3・4時限	講義	5	4	4	生物資源科学部	准教授	木原淳一
10	動物の世界	A	木	3・4時限	講義	5	9	8	生物資源科学部	准教授	秋吉英雄
11	プレートテクトニクス	A	木	7・8時限	講義	10	6	6	総合理工学研究科	教授	高須 晃
12	「酒」～一杯の酒から覗く学問の世界～	A	金	3・4時限	講義・実習	4	4	3	法文学部	教授	竹永三男他
13	島大ミュージアム学	A	金	3・4時限	講義	10	8	7	ミュージアム	准教授	會下和宏
14	技術と社会	A	金	5・6時限	講義	10	10	7	総合理工学研究科	教授	矢野澄男他9名
15	知ることと生きること	A	金	5・6時限	講義	10	11	10	法文学部	准教授	田中一馬
16	島根学	A	金	7・8時限	講義	50	57	52	教育開発センター	准教授	岩瀬峰代
	計					167	156	128			

平成26年度（後期） 島根大学公開授業実施結果

専門教育系科目

No.	科目名	レベル	曜日	時限	授業形態	募集人数	申込人数	受講人数	学部	職名	担当教員
17	情報経済論	B	月	1・2時限	講義	5	3	3	法文学部	教授	野田哲夫
18	考古学概論Ⅱ	A	月	5・6時限	講義	10	3	3	法文学部	教授	大橋泰夫
19	イギリス文学基礎演習Ⅱ	B	月	5・6時限	演習	3	3	3	法文学部	教授	西野義彰
20	現代フランス語基礎演習Ⅱ	その他	月	5・6時限	演習	5	7	7	法文学部	教授	金山富美
21	芸術学講義Ⅲ	A	月	5・6時限	講義	10	24	16	法文学部	准教授	西田 兼
22	農場基礎実習Ⅱ	A	月	5～8時限	実習	5	1	1	生物資源科学部	准教授	松本真悟他
23	発生生物学	A	月	9・10時限	講義	10	8	6	生物資源科学部	教授	西川彰男
24	木によるものづくり実習Ⅱ	B	月	9・10時限	実習	5	10	10	教育学部	特任教授	山下晃功
25	財政学Ⅱ	B	火	1・2時限	講義	5	2	2	法文学部	准教授	関 耕平
26	労働法Ⅱ	B	火	3・4時限	講義	10	2	2	法文学部	嘱託講師	遠藤昇三
27	地方財政論	B	火	3・4時限	講義	5	4	1	法文学部	准教授	関 耕平
28	木質建築学Ⅱ	B	火	3・4時限	講義	20	2	1	総合理工学研究科	准教授	中井毅尚
29	東洋史概説B	B	火	7・8時限	講義	10	13	13	法文学部	准教授	佐々木愛
30	日本語学概論	A	火	7・8時限	講義	10	14	13	法文学部	教授	田籠 博
31	現代史特論A	B	火	7・8時限	講義	5	1	1	法文学部	教授	竹永三男
32	歴史学史料演習D	B	水	1・2時限	演習	3	3	2	法文学部	准教授	佐々木愛
33	自然地理学特論	B	木	1・2時限	講義	5	2	2	法文学部	教授	田坂郁夫
34	環境経済論Ⅱ	B	木	5・6時限	講義	5	5	4	法文学部	准教授	上園昌武
35	農場基礎実習Ⅳ	A	木	5～8時限	実習	5	3	3	生物資源科学部	准教授	松本真悟他
36	金融論Ⅱ	B	木	7・8時限	講義	6	4	4	法文学部	教授	伊藤光雄
37	木と木工の知識	A	木	7・8時限	講義・実習	5	3	3	教育学部	特任教授	山下晃功
38	経済学概論	A	金	3・4時限	講義	5	7	6	法文学部	教授	野田哲夫
39	日本文学史AⅠ～王朝物語文学史とその周辺～前半～	A	金	5・6時限	講義	10	3	2	教育学部	教授	福田景道
40	文化共生論～日本の王朝文学と「異界」～	A	金	7・8時限	講義	10	8	8	教育学部	教授	福田景道
41	歴史学史料演習G～『原敬日記』を原敬の自筆本で読む～	C	金	7・8時限	講義	3	2	2	法文学部	教授	竹永三男
	計					175	137	118			
	合計					342	293	246			

2 平成26年度 生涯教育推進センター事業 実施内容結果

(2) 生涯教育推進センター講座実施結果

平成26年度センター事業（学習機会提供・指導者養成）実施結果

類別	形態	講座名等	講師	日程	回数	総時間	募集人数	申込人数	受講人数	修了人数	延べ受講者数	対象	
学習機会提供事業	主催	「上方の伝統芸能～文楽の世界」 ～松江ゆかりの人形浄瑠璃を楽しむ～	法文学部教授 田中 則雄 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	7/21 8/1、8/2	3	9.5	40	30	30	30	90	一般市民学生	
		仕事で使える「エクセル」基本スキルをマスター	(公開講座：有料)					14	13	13	130		
		普段からエクセルを使用している方が、より効果的に業務・生活に活かして行く技術・操作方法を学びます。また、仕事力の向上や就職を目指している人も対象にして、夜間講座として開講します。 ※C S検定3級（エクセル）資格取得支援講座	民間IT教育関係事業者 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	10/15 ～12/17	10	20	20	12	12	12	120		
		仕事で使える「ワード」基本スキルをマスター	(公開講座：有料)					5	5	5	50		
		普段からワードを使用している方が、より効果的に業務・生活に活かして行く技術・操作方法を学びます。また、仕事力の向上や就職を目指している人も対象にして、夜間講座として開講します。 ※C S検定3級（ワード）資格取得支援講座	民間IT教育関係事業者 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	5/8～7/10	10	20	20	11	11	10	100		
		「家族の記録」デジタルアーカイブづくり ～ビデオカメラ撮影・編集技術のステップアップ～	(公開講座：有料)										
		地域の暮らしや仕事、遊び、行事、子どもの成長など様々な家族や地域のシーンをビデオ・カメラで撮影した映像を、親から子へと時を超えて伝えることができる「家族の記録」デジタルアーカイブづくりの知識と技術を学ぶ講座です。	生涯教育推進センター 教授 仲野 寛 映像制作ディレクター 佐藤 一孝	5/16 ～6/13	5	10	15	10	10	10	50		
		「海の自然体験講座」	県水産技術センター内水面浅海部研究員 日本赤十字社水上安全法指導員 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	7/19、20 8/3 8/23	4	18	30	26	26	26	104		
		「デジタルアーカイブ・クリエイタ」 資格取得講習会	常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂井 知志 映像制作ディレクター 佐藤 一孝 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	11/15、16	2	12	30	8	8	8	16		教育・文化財 行政関係者 情報技術者・ 学生・教育関係者
社会教育指導者養成事業	主催	「社会教育基礎講座（概論）」	生涯教育推進センター教授 仲野 寛	10/15 11/19 12/17 1/21 2/12	5	15	20	8	8	8	40	教育行政関係者 社会教育関係 団体職員	
		「社会教育基礎講座（著作権）」	常磐大学コミュニティ振興学部教授 坂井 知志 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	7/17、18	2	4	40	35	35	35	70	教育行政関係者 社会教育関係 団体職員	
		「社会教育基礎講座（特講）」	県内の社会教育の専門研究者 生涯教育推進センター教授 仲野 寛	10/21 ～1/27	11	17	20	5	5	5	8	社会教育関係者 教育学部生	
		※本学の授業「地域づくり～地域教育力の再生～」の一部を選択聴講し、地域教育力に関する基本的知識と実践を学ぶ。											
事業合計（主催9）					52	125.5	235	164	163	162	778		

生涯教育推進センター事業 実施内容

3 平成26年度 生涯教育推進センター事業 実施内容

(1) 学習機会提供事業

生涯教育推進センター特別講座 「上方の伝統芸能～文楽の世界」 ～松江ゆかりの人形浄瑠璃を楽しむ～

1 講座の趣旨

この講座は、「世界無形遺産」に登録された「文楽」（人形浄瑠璃）をテーマとし、文楽に関する島大での講義と文楽発祥の地・大阪に出かけて舞台鑑賞を行います。加えて、京都を中心とした伝統工芸について作品の鑑賞を通して学びます。

文楽の観劇は、先般、松江市でも上演された島根（出雲）に縁のある人形浄瑠璃「日本振袖始」に引続き、大阪の高麗橋で起こった松江藩茶道役の藩士が自分の妻とその密通相手を討つ妻敵（めがたき）討ちの事件を題材にした「鎖の権三重帷子」という人形浄瑠璃について、島大での事前講義を受けた後に実施します。

また、京都を中心とした伝統工芸について、京都伝統産業ふれあい館、及び驚くべき緻密な技巧を凝らした「明治工芸」のコレクションで有名な清水三年坂美術館も訪問します。

今回は、本学における事前学習と国立文楽劇場での観劇・生涯学習ツアーでの学習活動を通して、上方の伝統芸能である「文楽の世界」をより深く理解するとともに、日本の伝統工芸についても多くの作品にふれ理解を深めます。

2 講義内容

【講義】

7 / 21 近松が描いた松江の事件 — 「鎖の権三重帷子」 —

島根大学法文学部教授 田中 則雄

【生涯学習ツアー】

8 / 1 「文楽鑑賞」

演目：『平家女護島』（へいけによごのしま）

・鬼界が島の段

『鎖の権三重帷子』（やりのごんざかさねかたびら）

・浜の宮馬場の段／浅香市之新留守宅の段／

・数寄屋の段／伏見京橋妻敵討の段

8 / 2 「伝統工芸」

・清水三年坂美術館：「明治工芸」の超絶的な技巧作品コレクション

※館長による展示作品解説

・京都伝統産業ふれあい館：京都を中心とした伝統工芸

3 講義日程

講義 7月21日（月・祝日） 10：30～12：00

生涯学習ツアー 8月1日（金）～2日（土）

4 講義会場

島根大学教育学部棟2階212研修室

5 ツアー日程（交通手段：貸切バス）

8月1日（金） 島根大学（7：15） 松江駅前出発（7：30）

松江→米子→（中国道）→大阪（12：00）

昼食（大阪市内にて）

↓

ホテル（13：00荷物預け、文楽会館に移動）

↓ 徒歩5～10分程度

■ 国立文楽劇場（13：30～17：50）

↓ （資料室見学、鑑賞）

ホテル（18：00チェックイン）

夕食（各自で夕食を摂る）

8月2日（土） 朝食後ホテル出発（8：00）

↓

■ 清水三年坂美術館

↓ （9：30～11：30）

昼食（京都市内にて）

↓

■ 京都伝統産業ふれあい館

↓ （13：30～15：00）

京都出発（15：20）

↓

松江駅到着（19：45）→島根大学（20：00）

6 参加者

30名



松江ゆかりの人形浄瑠璃「鍵の権三重帷子」鑑賞（国立文楽劇場にて）

島根大学公開講座
仕事で使える『ワード』スキルマスター
～コンピュータ・サービス技能評価試験3級の取得支援講座～

1 講座の趣旨

普段からエクセルを利用している方が、より効果的に日常業務に活かして行く技術・操作方法を学ぶ講座として開講します。

また、この講座は、仕事力の向上や就職を目指している人も対象に夜間講座として開講し、CS検定3級の取得を目標として実施します。

※コンピュータサービス技能評価試験3級（中央職業能力開発協会主催）

2 講師

（有）Willさんいん 加藤てるみ

生涯教育推進センター教授 仲野 寛

3 日程

5月8日（木）～7月10日（木） 毎回19：00～21：00

毎週木曜日 2時間×10回

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

5 参加者

一般市民5名 学生11名

6 受講料

講習料 7,000円 テキスト代 2,000円 受験料 5,250円

7 備考

受講者5名以上が講座開講の条件とし、受講対象者は、日常的にワードを使用している方とした。

8 その他

本学学生が公的資格（CS検定3級ワープロ技士）を取得する機会を設けるため、本講座を教育・学生支援機構のキャリアセンターと共催形式で、公開講座と併用運用することで「島根大学学生の資格取得支援講座」として学生10名の受講を認めることとなった。

【講座内容】

回	日程	曜日	講義テーマ・内容
1	5月8日	木	パソコンを便利に使いこなす（Windows7を使用する）
2	5月15日	木	パソコンの効率的な操作方法を習得
3	5月22日	木	表の作成、セル及び表全体の書式設定
4	5月29日	木	オブジェクトの作成・挿入を理解する
5	6月5日	木	文字書式の設定（均等割り付けなど）
6	6月12日	木	文書の校正・編集を理解する
7	6月19日	木	印刷形式の設定を理解する
8	6月26日	木	ファイル操作と管理を理解する
9	7月3日	木	コンピュータ技能評価試験3級対策①
10	7月10日	木	コンピュータ技能評価試験3級対策②

島根大学公開講座
仕事で使える『エクセル』基本スキルマスター
～コンピュータ・サービス技能評価試験3級の取得支援講座～

1 講座趣旨

普段からエクセルを利用している方が、より効果的に日常業務に活かして行く技術・操作方法を学ぶ講座として開講します。

また、この講座は仕事力の向上や就職を目指している人も対象に夜間講座として開講し、CS検定2級の取得を目標として実施します。

※コンピュータサービス技能評価試験3級（中央職業能力開発協会主催）

2 講師

(有) Willさんいん 加藤てるみ

島根大学生涯教育推進センター教授 仲野 寛

3 日程

10月15日（水）～12月17日（水） 毎回19：00～21：00

毎週木曜日 2時間×10回

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センターICT演習室

5 参加者

一般市民13名 学生12名

6 受講料

講習料 7,000円 テキスト代 2,000円 受験料 5,250円

7 受講方法

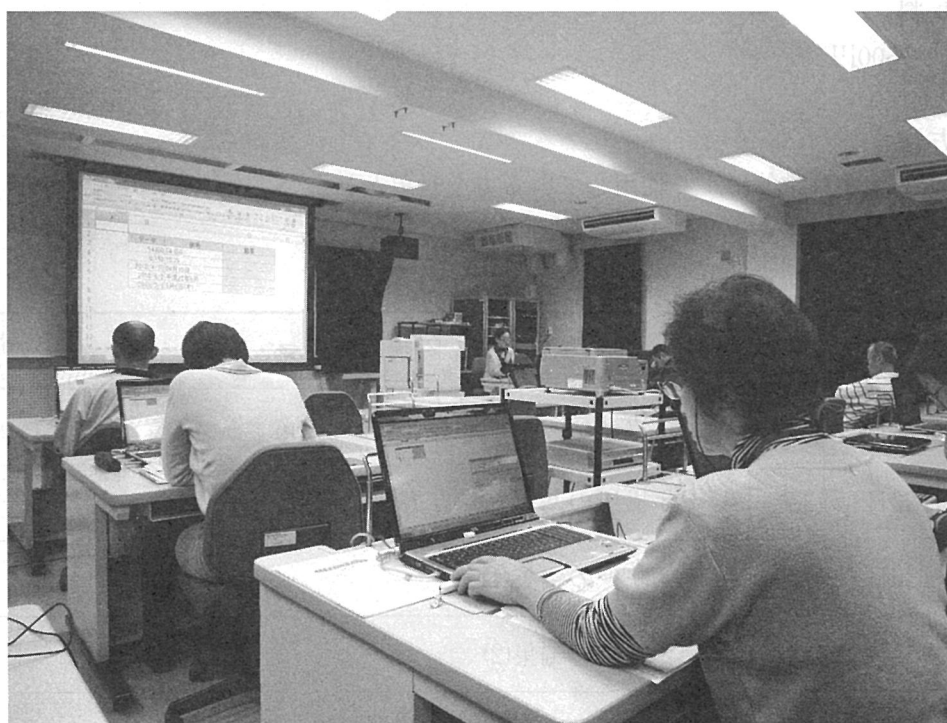
受講者5名以上が講座開講の条件とし、受講対象者は、日常的にエクセルを使用している方とした。

8 その他

本学学生が公的資格（CS検定3級表計算技士）を取得する機会を設けるため、本講座を教育・学生支援機構のキャリアセンターと共催形式で、公開講座と併用運用することで「島根大学学生の資格取得支援講座」として学生10名の受講を認めることとなった。

【講座内容】

回	日程	曜日	講義テーマ・内容
1	10月15日	水	パソコンの効率的な操作方法を習得（Windows7を使用する）
2	10月22日	水	表の作成・装飾と編集・グラフ作成の確認
3	10月29日	水	関数の活用①（論理関数、検索、行列関数）
4	11月5日	水	関数の活用②（数学、三角関数、日付・時刻関数）
5	11月12日	水	関数の活用③（データベース関数）・データベース作成
6	11月19日	水	関数の活用④（データベース関数）・データベース作成
7	11月26日	水	条件付き書式設定・ユーザー定義
8	12月3日	水	グラフ作成のポイント
9	12月10日	水	コンピュータ技能評価試験3級対策①
10	12月17日	水	コンピュータ技能評価試験3級対策②模擬試験



島根大学公開講座
「家族の記録」デジタルアーカイブづくり
—ビデオカメラ撮影・編集技術のステップアップ—

1 講座趣旨

地域の暮らしや仕事、遊び、行事、子どもの成長など様々な家族のシーンをビデオカメラで撮影した映像を、家族や身近な人々と楽しみ、また親から子へと時を超えて伝えることができる「家族の記録」デジタルアーカイブづくりの知識と技術を学ぶ講座として開講し、ビデオカメラの基本的知識、撮影・編集の方法と技術、記録ビデオの利活用の方法等を学びます。

2 講師

映像制作ディレクター 佐藤 一孝
島根大学生涯教育推進センター 仲野 寛

3 日程

5月16日（金）～6月13日（金） 毎回19：00～21：00
毎週金曜日 2時間×5回

4 講座会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

5 参加者

一般市民10名

6 受講料

講習料 2,500円

7 受講方法

ビデオカメラを日常的によく使用している方を対象とした。

【講座内容】

回	日程	曜日	講義テーマ・内容
1	5月16日	金	ビデオカメラの基本知識と撮影技術
2	5月23日	金	ビデオ撮影の基本知識と方法・技術
3	5月30日	金	ビデオ映像の編集(1)
4	6月6日	金	ビデオ映像の編集(2)
5	6月13日	金	デジタル映像の利活用

自然体験講座
「海の自然体験」
—スキンドайビング入門と磯の生物観察—

1 主 催

夏の自然体験活動としてスキンドайビング（素潜り）を安全に、かつ有意義に楽しめるように必要な知識と技術の向上を図るために実施します。

また、実際に島根半島でスキンドайビングを体験したり、磯の動植物の生態の観察を通して、海の自然に親しみます。

2 日程及び活動

- | | | |
|---|---------------------|-------------------|
| ① | 7月19日（土）13：00～16：30 | オリエンテーション・大学プール実習 |
| ② | 7月20日（日）10：00～16：00 | 大学プール・基礎実習 |
| ③ | 8月3日（日）9：00～12：30 | 県立プール・総合練習 |
| ④ | 8月23日（土）9：30～16：30 | 島根町多古地区周辺海岸 |

3 講 師

島根県水産技術センター

内水面浅海部内水面科主任研究員 勢村 均

島根県水産技術センター

内水面浅海部内水面グループ専門研究員 曾田 一志

島根県水産技術センター

内水面浅海部浅海科主任研究員 吉田 太輔

日本赤十字社水上安全法指導員 本田 坦

（日本スノーケリング協会公認インストラクター）

日本赤十字社水上安全法指導員 池田 幸恵

海の自然体験活動指導者・水泳指導員 安達 滋

島根大学生涯教育推進センター教授 仲野 寛

4 対 象 者

一般市民 26名（原則、小学4年生以上）

※水泳、海水浴等が健康上、問題のない者

※小・中学生は、親子での参加が原則

5 受 講 料

無 料

6 必要経費

学外の実習経費は自己負担

（県立プール借用分担金、保険代・渡船代等の実費を別途徴収した）

7 そ の 他

ダイビング3点セット（マスク・スノーケル・フィン）の基本的な機材、ウェットスーツ、シューズ等は大学で準備。

講座展開の概要と活動内容の日程

会場： 島大プール① 島大プール② 県立飛込プール 島根町多古海岸

	7月19日(土)	7月20日(日)	8月3日(日)	8月23日(土)
	基礎練習 I	基礎練習 II	総合練習 I	海の自然体験
9:00	<ul style="list-style-type: none"> ■：講義 □：実技 	9:30 大学プール集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> 基礎技術 I ・パイプクリア ・マスククリア ・フィンワーク	9:30 県立プール 玄関前に集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング ・エントリーとイグジット ・サーフェイスダイブ ・耳抜き練習 <input type="checkbox"/> バディ・ワーク	9:30 島根町多古漁港集合 10:00 準備運動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング の実際 ※船にて実習予定の磯(岩場)に移動 ※親子バディでスキンドайビング活動を実践
12:00		12:00 昼食/休憩	12:30 諸連絡、解散	12:00 昼食/休憩
13:00	13:00 ・開講式 ・オリエンテーション ■スキンドайビングの基礎知識 ※大学プールへ移動 14:30 準備運動 <input type="checkbox"/> 浮力体験 <input type="checkbox"/> 三点セットの使い方 ・正確な装着 ・スノーケリング	13:00 準備運動 <input type="checkbox"/> 基礎技術 II ・スノーケリング ・サーフェイスダイブ ・水中スタンディング <input type="checkbox"/> 基礎技術 III ・連続ダイビング ・ジャイアントストライド等エントリー法		13:00 ■多古海岸の海洋生物の特徴 (勢村・曾田・吉田) 14:00 準備運動 ※船にて実習予定の島(岩場)に移動 <input type="checkbox"/> スキンドайビング の実際と自然観察 <input type="checkbox"/> 親子バディでフリースキンドайビング
16:00	16:00 諸連絡、解散	16:00 諸連絡、解散		16:30 閉校式、解散
	本田/勢村/池田 安達/仲野	本田/勢村/池田 安達/仲野	本田/勢村/池田 安達/曾田/吉田	本田/勢村/池田 曾田/吉田/安達

【講座運用スケジュール表】

【素水一ヒビで入田監演説】

7月19日（土）「基礎練習1」 場所：大学プール

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
11:00	機材の点検と準備	
12:00	集合（スタッフ）・打合せ・準備 ・機材の準備 ・受付（13:00）	場所：センター会議室 打合せ（11:30～12:20） ・教育学部玄関前（12:40） ・受付名簿・領収書準備
13:00	<input type="checkbox"/> 開講 ・オリエンテーション・諸注意	趣旨・日程案内・スタッフ紹介 ・資料講義・イメージ・トレーニング
13:15	<input type="checkbox"/> スキンドイビングの基礎知識	
14:00	⇒三点セット、ウェット配布	
14:00	プールへ移動 ・準備運動・点呼・グループ分け <input type="checkbox"/> 三点セットの使い方 ※正確な装着法を身につける ※三点セットの基本的使用技術を習得させる	・指導⇒大人グループと子どもグループに分ける ・プールサイドでの諸注意 (走ること、フィン装着歩き、トイレ) 指導内容 ※水に慣れ、三点セットの装着ができる ※三点セットの置き方、自由泳法 ①ウェットを着て、水中感覚に慣れる ②マスクにスノーケルを付け、使用法を指導 ③マスクとスノーケルに慣れる *相互確認 ④マスク・スノーケルを付け、長く泳ぐ ⑤フィンの装着、自由に泳ぐ ⑥潜水することにこだわらない
16:00	<input type="checkbox"/> 点呼・諸連絡、解散 ※スタッフ・ミーティング	・各人の技術評価と課題

【講座運用スケジュール表】

7月20日（日）「基礎練習2」 場所：大学プール

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
9:30	集合（スタッフ）	場所：センター会議室（理工学部2号館）
9:45	集合（参加者、プール前）	受付名簿・点呼
10:00	・点呼・準備運動 □基礎技術Ⅰ ・パイプクリア ・フィンワーク ・マスククリア	①三点セットの置き方、自由泳法 ②バディーを決める、装着相互確認 ③パイプクリアの練習 ④マスクを付け、フィンワークの練習 ・壁を押しながらフィンワークを確認 ・泳ぎながらのフィンワークを確認
12:00	昼食	
13:00	・準備運動・点呼 □基礎技術Ⅱ ・スノーケリング ・サーフェイスダイブ ・水中スタンディングターン	①マスククリアの練習 ②スノーケルを外して練習 ③スノーケルを装着して練習 ④泳ぎながら、マスククリアを練習
14:00	□基礎技術Ⅲ ・連続ダイビング ・ジャイアントストライド	①スノーケリングからスキンドイビングへ ②短い距離からサーフェイスダイブを練習 ③長い距離を泳ぎながら、サーフェイスダイブ、パイプクリアを繰り返す。 フィンワークを確認 ④プールの淵から、ジャイアントスタライド等エントリー法の練習
15:30	諸連絡、解散 ・スタッフ・ミーティング	・各人の技術評価と課題

【講座運用スケジュール表】

【表】バーベキュー実習要領書

8月3日（日）「総合練習1」 場所：県立飛び込みプール

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
9:00	集合（スタッフ）	集合：県立プール玄関前 ・点呼 ⇒ 機材貸出
9:30	集合（参加者OB） 集合（一般参加者）	・点呼 ⇒ 参加最終人数確認 ・入場券
10:00	○点呼・入場券配布・着替え ・飛び込みプール集合 ・準備運動 <input type="checkbox"/> 基礎技術Ⅰ・Ⅱの復習 ・スノーケリングの総合練習 ・バディー・ワークの練習	①バディーを決める、装着相互確認 ・プールで浮力体験（水慣れ安心感） ②スノーケリングでプール往復 ・スノーケリングの技術確認 ・フィンワークを確認
11:00	※休憩 <input type="checkbox"/> 基礎技術Ⅲの復習 ・スキндаイビングの総合練習 ・サーフェイスダイブ等の練習 ・耳抜き練習 ・エントリー法の練習 ※休憩 <input type="checkbox"/> 水上救助法の紹介 <input type="checkbox"/> 総合練習 ・大人と子どもバディー練習 お互いの技術確認	①サーフェイスダイブ、フットファーストダイブ ②耳抜き体験と練習 ③スノーケリングからダイビングへ ④泳ぎながらサーフェイスダイブとスノーケルクリアを繰り返し練習 （プールのふちに触らない） ⑤ジャイアントストライド等エントリー法の練習 ①大人と子どものバディーの技術確認
12:00	飛び込みプールでの練習終了	※スタッフ 個人能力・注意バディーの確認
12:30	諸連絡、解散	※海の実習関係資料 配布

【講座運用スケジュール表】

8月23日（土）「海の自然体験」 場所：島根町多古海岸

時間	日 程	活動内容詳細と準備内容
9:00		集合（スタッフ）：大学正門前、移動
9:30	島根町多古漁港集合 ・準備運動	集合：多古漁港網小屋前 ・点呼⇒名簿確認。健康確認 ・準備運動
10:00	<input type="checkbox"/> スキンドайビングの実際 ※船にて実習予定の磯・岩場に移 動 ※親子バディでスノーケリングを 実践	活動エリア確認と安全確認 1)バディを決め、機材装着相互確認 2)スノーケリングを実施、海中の観察 ・スノーケリングの技術確認 ・特にフィンワークを確認
12:00	昼食・休憩	
13:00	■多古海岸の海洋生物の特徴解説 （勢村・曾田・吉田）	・午前中に標本を採取、解説・講義終了後、海 へリリース
14:00	・準備運動 ※船にて実習予定の六島に移動 <input type="checkbox"/> スキンドайビングの実際と自然 観察 <input type="checkbox"/> 親子バディでフリーダイビング	活動エリア確認と安全確認 1)バディを決め、機材装着相互確認 2)スノーケリングからスキンドайビングへ ※活動支援スタッフ ダイビング中のバディの安全確認の担当を決 め、常に注意を払うこと。
16:00	（点呼⇒バディ確認。健康確認） 活動終了、シャワー・着替え	
16:30	閉校式、解散	※スタッフ・ミーティング 参加者の活動状況評価と課題

生涯教育推進センター特別講座 デジタルアーカイブクリエイター資格取得講習会

1 主催者

主催 島根大学・常磐大学・岐阜女子大学（共同開催）

後援 特定非営利活動法人 日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

2 趣 旨

過去の歴史的な資料や貴重な文化的資料、そして現在の島根県の様々な記録をデジタル化し、今日の教育と研究、又観光等の地域産業に活用するとともに、百年後、数百年後の未来に遺すためのデジタルアーカイブを構築するための専門的な知識と技術を学び、デジタルアーカイブ・コーディネータの資格を修得する。

3 講習日程・内容

11月15日（土）

(1) 「デジタル・アーキビストとは」 10：00～12：00

(2) 「資料のデジタル化と記録・保存」 13：00～15：00

・地域社会の記録を未来に遺す
～資料の収集・登録・保存・管理・利用～

(3) 「知っておきたい情報モラルと知的財産権」 15：00～16：30

・デジタルアーカイブのガイドラインの事例
～知的財産、肖像権等に関する基本的な知識～

11月16日（日）

(4) 「資料の管理とデジタルアーカイブの利用」 10：00～12：00

・メタデータとマイグレーション

(5) 「撮影・記録の知識と方法」 13：00～16：00

・デジタル・カメラの撮影の基本

※「デジタルアーカイブクリエイター認定試験」(16：10～17：00)

4 講 師

岐阜女子大学 学長 後藤 忠彦（映像講義）

常磐大学コミュニティ振興学部 教授 坂井 知志

島根大学生涯教育推進センター 教授 仲野 寛

映像制作ディレクター 佐藤 一孝

5 講習会場

島根大学生涯教育推進センター ICT演習室

6 参加者

8名

社会教育関係者、民間企業のIT・映像関係者、NPO関係者・地域住民等でデジタルアーカイブに関心がある人など

7 受講料

無料

※別途、テキスト資料代 2,000円、認定試験料 5,000円

【講習内容の解説】

デジタルアーカイブクリエイター資格

地域の文化活動やサークル活動などで、文化情報の収集や文化創造活動において情報の記録、保存、流通を行うとき、情報活用、著作権、プライバシー等の基本的な知識をもち、情報の管理、流通に責任をもって担当できる人材。

本講習会の具体的な目的・目標

(1) 「デジタル写真やビデオを利活用するために」

現在、マスコミから個人まで、日本や島根の歴史や風土、文化をデジタルデータで撮影し、利用し、保存している。しかし、残念ながら著作権などを理解していないため公表ができない場合も全国的には出てきている。現在、利活用を進めるためにも、デジタル・カメラの撮影に関する知識や技術、著作権や肖像権などの制度的な知識や技術が必要である。

(2) 「デジタル写真やビデオを未来に遺すために」

デジタル・データは長期保存には適してはいない。長期保存のISO取得のDVDであっても30年保証である。更に、メディアの劣化やハード、圧縮技術の変化に対応する術が世界中で確立されていない。それをいかに長期保存の資料とするのかについての知識・技術を理解し、地域の資産を現在及び未来に活用される貴重な資料とするための専門性を高める。

(3) 「デジタルアーカイブ・クリエイター資格を取得する」

社会教育関係者や企業やNPO、地域住民がデジタルアーカイブの専門的な資格である「デジタルアーカイブ・コーディネータ（クリエイター）」資格を取得する。

受講対象者の活用参考事例

- ・社会教育主事等の教育行政職員、及び公民館職員等社会教育施設職員
(例：地域住民が記録する島根の地域文化デジタルアーカイブ構築に向けて)
- ・図書館司書等職員 (例：地域歴史文献、地域映像教材のデジタル化)
- ・博物館学芸員等職員 (例：博物館資料のデジタル教材化)
- ・NPOや地域住民 (例：貴重な取り組みや個人の記録を地域の資料とする方法の理解)

主 催 者 京 都 大 学 学 部 学 務 課
(協 賛) 京 都 大 学 学 部 学 務 課

3 平成26年度
生涯教育推進センター事業 実施内容

(2) 社会教育指導者養成事業

- (1) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (1) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)
- (2) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (2) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)

- (3) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (3) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)
- (4) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (4) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)

- (5) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (5) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)

- (6) (1) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (1)
- (6) (2) 職業実践専門課程の推進に関する調査研究 (2)

生涯教育推進センター特別講座 社会教育基礎講座（概論）

1 趣 旨

生涯学習・社会教育関係の職員を対象に、地域の生涯学習の振興や社会教育を推進するために必要な基礎的知識や技術、及び地域の課題等について理解を深める。

また、本講座の受講者が、地域の社会教育活動の実践事例を学ぶため、学生教育の授業「地域づくり」を受講できるよう公開する。

2 日 程

10月15日（水）～平成27年2月12日（木）

午後1時00分～午後4時00分 3時間00分

3 講義テーマ

- (1) 「生涯学習の理念と社会教育の意義と役割」（10/15）
- (2) 「生涯学習社会における公民館等の社会教育施設のあり方」（11/19）
- (3) 「地域における様々な指導者と団体の役割」（12/17）
- (4) 「住民のニーズと地域の課題の把握と対応」（1/21）
- (5) 「『地域づくり』と社会教育事業（公民館事業）の推進の方策」（2/12）

4 講 師

島根大学生涯教育推進センター 教授 仲野 寛

5 受講方法

- ・原則、(1)～(5)のすべての講義を受講する。
- ・別添の本学の学生教育科目「地域づくり～地域教育力の再生～」の講義と県内各地の社会教育活動の実践事例を選択受講できる。

6 会 場

島根大学生涯教育推進センター・会議室

7 参加者

生涯学習・社会教育関係職員、公民館等の社会教育施設長及び職員 8名

生涯教育推進センター特別講座 社会教育基礎講座（著作権講座）

1 趣 旨

基礎講座は、生涯学習・社会教育関係の職員を対象に、地域の生涯学習の振興や社会教育を推進するために必要な基礎的知識や技術、及び地域の課題等について理解を深めることを目的としています。本講座は特別講座として開講し、社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応について学びます。

2 日 程

7月17日（木）、18日（金）

3 講義テーマ

- (1) 「社会教育活動における著作権に係わる諸問題の理解と対応」（7/17）
- (2) 「公民館経営における著作権に係る諸問題の理解」

4 講 師

常磐大学コミュニティ振興学部 教授 坂井 知志
島根大学生涯教育推進センター 教授 仲野 寛

5 会 場

松江市市民活動センター 201・202会議室

6 参 加 者

松江市公民館館長・職員 35名

7 そ の 他

松江市公民館館長・職員研修と連携講座として開催

生涯教育推進センター特別講座 社会教育基礎講座 「地域づくり～地域教育力の再生～」選択聴講講座

1 趣 旨

社会教育指導者養成講座では「社会教育活動への理解を広げ、より地域の実情に沿った実践を学ぶ」ことができるよう、本センターが提供している総合科目「地域づくり～地域教育力の再生～」の15回講義の一部を選択し、「地域の社会教育活動の講義・実践事例」を受講できるようにします。

2 日 程

10月21日（火）～平成27年1月27日（火）

午前10時15分～午前11時45分 90分

3 講義テーマ・担当講師

- 10/21 講義：地域の教育力と学校、家庭、地域の連携
（山本 芳正：島根県教育庁社会教育課社会教育グループサブリーダー・社会教育主事）
- 10/28 講義：地域の子どもを育む“ふるさと教育”
（大森 伸一：島根県教育庁社会教育課社会教育グループ社会教育主事）
- 11/4 事例：“島”の子どもを育む地域の多様な社会教育活動
（中村 孝志：隠岐の島町教育委員会生涯学習課社会教育係・社会教育主事）
- 11/11 講義：ボランティア活動と地域づくり（地域福祉活動を含む）
（山本 寿子：松江市社会教育委員）
- 11/18 事例：子どもを育む地域の体験活動（自然体験、農林業体験、生活体験等）
（大畑 伸幸：益田市教育委員会社会教育課長）
- 11/25 事例：地域の様々な資源を活かした公民館事業の実際
（石川 隆：飯南町頓原公民館長）
- 12/2 講義：地域スポーツ活動の推進と青少年の育成
（青山 巧：島根県教育庁保健体育課生涯スポーツ振興グループS L・社会教育主事）
- 12/9 事例：地域の自然体験活動①（山辺の活動）
（福田 悟：島根県キャンプ協会事務局長）
- 12/16 講義と事例：地域の自然体験活動②（海辺の活動）
（仲野 寛：生涯教育推進センター教授）
- 1/6 事例：先人の知恵と技術に学ぶ“ふるさと”の生活文化とエコライフ
（仲野 寛：生涯教育推進センター教授）
- 1/13 講義と事例：地域の図書館と“子ども読書県しまね”の実際
（大野 浩：島根県立図書館資料情報課資料サービス係長）
- 1/20 講義：地域コミュニティの再生と地域づくり
（仲野 寛：生涯教育推進センター教授）
- 1/27 講義：男女共同参画社会の形成と女性の社会参加活動の推進
（多々納 道子：島根大学教育学部教授・生涯教育推進センター長）

4 参加者

生涯学習関係職員、社会教育施設職員 5名